
2022年3月期 第3四半期
決算説明資料

2022年2月4日



エグゼグティブ・サマリー (2021年 4月~12月)

連結決算概要

営業収益

3,981 百万円

(前年同期比 925 百万円 増↑)

営業利益

748 百万円

(前年同期比 1,431 百万円 増↑)

経常利益

787 百万円

(前年同期比 1,485 百万円 増↑)

最終利益

601 百万円

(前年同期比 1,450 百万円 増↑)

中間配当

1株当たり

3.75 円の復配

営業 ハイライト

米ドル/円 0.0銭をはじめ主要取扱通貨ペアで
業界最狭水準のスプレッド提示

I. 連結決算概況

II. 営業ハイライト

II-a 2022年3月期 Q3のマネパ

II-b 暗号資産CFD開業

II-c 2022年3月期 Q4からのマネパ

III. プライム市場の選択及び計画書取組進捗について

IV. 当社の経営目標及び株主還元について

V. 参考資料



本資料は、株式会社マネーパートナーズグループの事業及び業界動向についての株式会社マネーパートナーズグループによる現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。

これらの将来の展望に関する表明はさまざまなリスクや不確実性がつきまとっています。

既に知られたもしくははまだ知られていないリスク、不確かさその他の要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。

株式会社マネーパートナーズグループは将来の展望に対する表明、予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なるか、さらに悪いこともありえます。

本資料における将来の展望に関する表明は、2022年2月4日現在において利用可能な情報に基づきなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。

I. 連結決算の概況



2022年3月期 第3四半期（2021年4月～12月） 連結業績

営業収益

3,981 百万円

(前年同期比 925 百万円 増↑)

販売費・一般管理費

3,057 百万円

(前年同期比 480 百万円 減↓)

営業利益

748 百万円

(前年同期比 1,431 百万円 増↑)

最終利益

601 百万円

(前年同期比 1,450 百万円 増↑)

- 外国為替相場の変動率は、10月から11月にかけては比較的高水準での推移となるも、上半期が著しく低調な水準となったため全体としては前年同期を下回る水準で推移。
- 営業収益は、スワップカバー手法の弾力的な運用、業界最狭水準のスプレッド提示を実行する営業戦略の転換等によりトレーディング損益が堅調に推移し**増収**
- 営業利益は、主力事業のFXへ経営資源を集中、前期の連結子会社事業撤退など不採算事業の見直しにより大幅なコストカットを推進したことで販売費・一般管理費が480百万円減少し、**増益**
- 最終利益は**1,450百万円増加**の**601**百万円で着地



2022年3月期 第3四半期（2021年4月～12月） 連結業績

(単位:百万円)

	2021/3期 Q3	2022/3期 Q3	前年同期比	
	(2020年 4～12月)	(2021年 4～12月)	増減額	増減率
営業収益	3,056	3,981	+925	+30.3%
受入手数料	25	30	+4	+19.5%
トレーディング損益	2,892	3,802	+910	+31.5%
金融収益	4	3	▲1	▲32.8%
その他の売上高	133	145	+11	+8.7%
金融費用	126	75	▲51	▲40.3%
売上原価	75	100	+24	+33.2%
純営業収益	2,854	3,806	+951	+33.3%
販売費・一般管理費	3,537	3,057	▲480	▲13.6%
営業利益	▲683	748	+1,431	—
経常利益	▲698	787	+1,485	—
特別利益	0	31	+31	—
特別損失	189	2	▲187	▲98.6%
税金等調整前四半期純利益	▲887	815	+1,703	—
親会社株主に帰属する 四半期純利益	▲848	601	+1,450	—



2022年3月期 第3四半期（2021年10月～12月）連結業績

営業収益

1,449 百万円

(前四半期比 195 百万円 増 ↑)

販売費・一般管理費

1,053 百万円

(前四半期比 55 百万円 増 ↑)

営業利益

347 百万円

(前四半期比 150 百万円 増 ↑)

最終利益

234 百万円

(前四半期比 35 百万円 増 ↑)

- 市場の変動率はQ2より若干の上昇があったものの、全体的に低水準での推移
- 営業収益は、12月に2021年3月以来の5億円 越えとなる **589百万円**を計上。トルコリラのボラティリティ拡大の影響や年末越えのスワップ収益の増加等によりトレーディング損益が大幅な増加により**増収**
- 営業利益は、販売費・一般管理費が新規顧客獲得施策による広告宣伝費や、暗号資産CFDサービスインの費用増加等に 伴い**55百万円増加**となったが、営業収益の増加により **150百万円の増益**
- 最終利益は **35百万円増加**の**234百万円**で着地



2022年3月期 第3四半期（2021年10月～12月）連結業績

(単位:百万円)

	2022/3期 Q2	2022/3期 Q3	前四半期比	
	(2021年7～9月)	(2021年10～12月)	増減額	増減率
営業収益	1,253	1,449	+195	+15.6%
受入手数料	11	9	▲1	▲11.5%
トレーディング損益	1,193	1,397	+203	+17.1%
金融収益	1	1	▲0	▲12.0%
その他の売上高	47	40	▲6	▲14.0%
金融費用	25	23	▲1	▲7.4%
売上原価	32	25	▲7	▲23.9%
純営業収益	1,195	1,400	+205	+17.2%
販売費・一般管理費	997	1,053	+55	+5.6%
営業利益	197	347	+150	+76.0%
経常利益	228	355	+127	+55.8%
特別利益	2	4	+1	+36.9%
特別損失	1	1	+0	+36.4%
税金等調整前四半期純利益	229	357	+128	+55.7%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	199	234	+35	+17.9%



前四半期比決算概況(2022年3月期 第3四半期(10月～12月)と第2四半期(7月～9月)の比較)

	2020/3期 Q4 (1月～3月)	2021/3期 Q1 (4月～6月)	2021/3期 Q2 (7月～9月)	2021/3期 Q3 (10月～12月)	2021/3期 Q4 (1月～3月)	2022/3期 Q1 (4月～6月)	2022/3期 Q2 (7月～9月)	2022/3期 Q3 (10月～12月)	前四半期 対比増減
外国為替取引高 (億通貨単位)	3,117	2,818	2,436	2,066	2,357	2,281	2,476	2,519	+1.7%
営業収益(百万円)	2,034	1,030	902	1,123	1,457	1,278	1,253	1,449	+15.6%
純営業収益(百万円)	1,859	976	835	1,042	1,330	1,210	1,195	1,400	+17.2%
経常利益(百万円)	559	▲235	▲359	▲103	69	203	228	355	+55.8%

※外国為替取引高にはCFD-Metals(差金決済取引)の取引高(原取引単位を米ドルに換算)を含めて表示しております。

損益影響ファクター

前四半期比

FX取引高

FX収益性

販管費

- ・FX取引高は、米ドル／円のボラティリティが依然として低水準で推移した市場の影響を受けながらも、パートナーズFXnanoにおいて、米ドル／円をスプレッド0.0銭(売買同値)をはじめ主要取扱通貨ペアで原則24時間業界最狭水準スプレッドを提示するキャンペーンや、パートナーズFXでは時間限定主要取扱通貨ペアで業界最狭水準スプレッドを提示したこと等により増加。
- ・FX収益性は、相対的に収益性の低い米ドル／円の割合が低くなり、11月から12月にかけて収益性の高い新興国通貨の割合が高まり上昇。
- ・販管費は、新規顧客獲得施策の注力に伴う広告宣伝費、暗号資産CFDサービスインの費用等により増加。



四半期連結販管費推移(販管費内訳及び主要費目の推移)

<主な増減要因(2022年3月期 第3四半期(10月~12月)と第2四半期(7月~9月)の比較)>

- 取引関係費 (増加):取引高減少に伴うカバー取引関連の支払手数料が減少した一方、広告宣伝費が増加
- 内、広告宣伝費 (増加):新規顧客獲得の施策に伴う増加
- 人件費 (増加):賞与引当金繰入による増加
- 事務費 (増加):暗号資産CFDサービスインによる増加
- 不動産関係費 (増加):暗号資産CFD関連に加え、システム関連の器具・備品費の増加

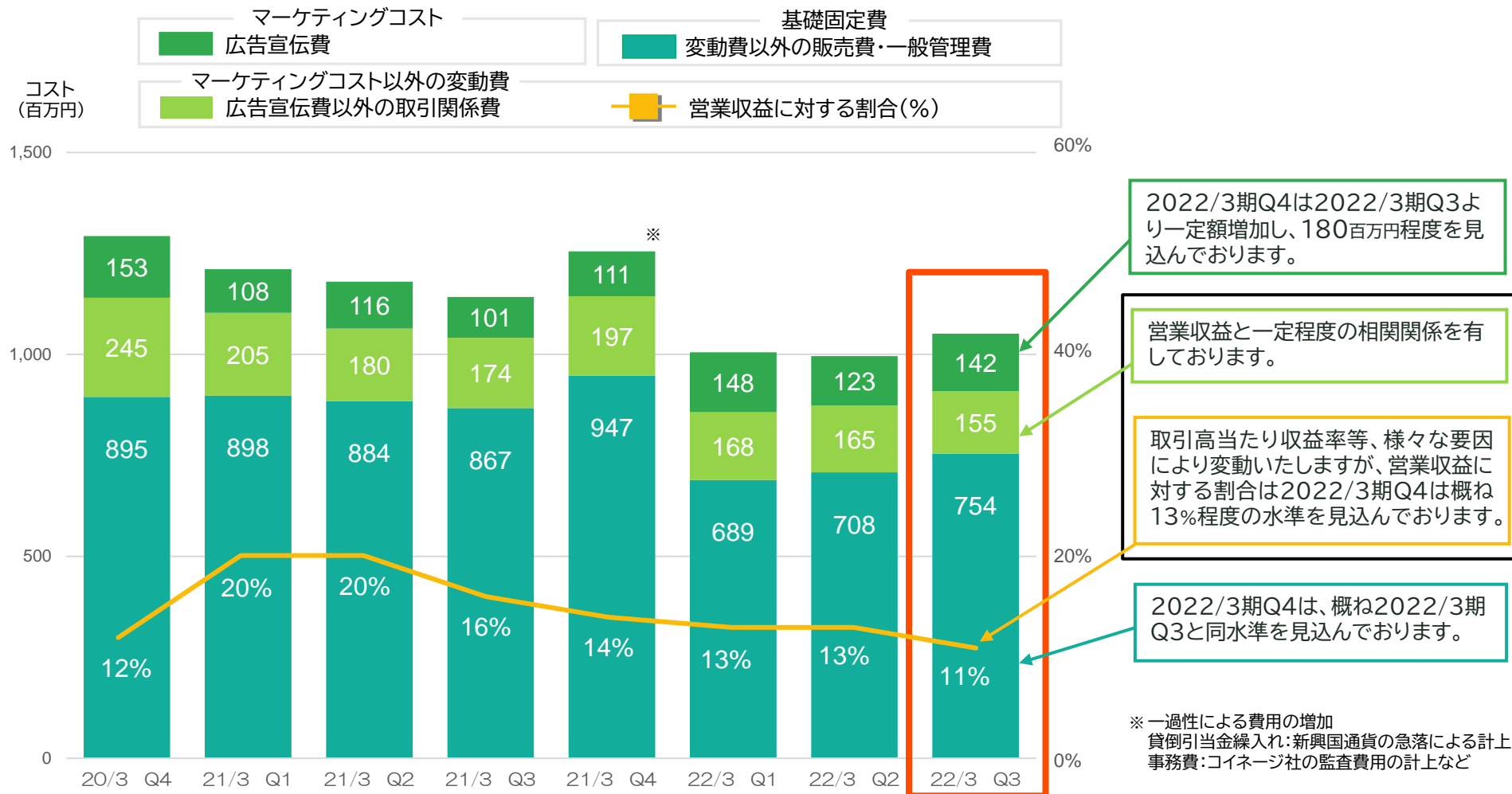
(単位:百万円)

	2020/3期		2021/3期		2022/3期		前第2四半期対比増減		増減額	増減率
	Q4 (1月~3月)	Q1 (4月~6月)	Q2 (7月~9月)	Q3 (10月~12月)	Q4 (1月~3月)	Q1 (4月~6月)	Q2 (7月~9月)	Q3 (10月~12月)		
取引関係費	398	313	297	276	309	317	289	298	+9	+3.2%
人件費	295	291	285	273	267	207	200	216	+15	+8.0%
不動産関係費※	178	168	163	156	166	142	132	145	+13	+9.9%
事務費	202	224	229	222	248	191	209	228	+19	+9.4%
減価償却費	151	153	173	173	158	135	137	134	▲2	▲1.9%
租税公課	43	31	15	22	12	22	25	21	▲4	▲16.3%
貸倒引当金繰入れ	1	▲1	▲0	▲0	74	▲26	▲6	▲1	+4	-
その他	23	30	17	18	19	17	8	9	+0	+2.5%
販売費・一般管理費計	1,294	1,212	1,181	1,143	1,256	1,006	997	1,053	+55	+5.6%
(主要な費目)										
広告宣伝費(取引関係費に含まれる)	153	108	116	101	111	148	123	142	+19	+15.9%

※不動産関係費には、不動産費の他、器具・備品費が含まれております。

四半期連結固定費・変動費推移と今後の動向

2022年3月期第4四半期の固定費は既存のお客様への商品訴求はもとより、新規顧客獲得に注力、企業認知度向上を図る施策に伴う広告宣伝費の増加を見込んでおり、基礎固定費は概ね2022年3月期第3四半期と同水準を見込んでおります。



Ⅱ. 営業ハイライト



Ⅱ - a 2022年3月期 Q3のマネパ

パートナーズFX nano

- ◆ 米ドル/円で**0.0銭 (売買同値)**※を原則24時間提示(続行)
- ◆ 豪ドル/円で業界最狭水準スプレッド**0.2銭**を原則24時間提示開始※
- ◆ トルコリラ/円、ユーロ/円、ポンド/円の主要クロス円通貨も業界最狭水準スプレッドを原則24時間提示※

パートナーズFX

- ◆ 米ドル/円で18:00~24:00のコアタイムにおいて業界最狭水準スプレッド **0.2銭** を提示(続行)
- ◆ 加えて豪ドル/円、ユーロ/円、ポンド/円の3通貨ペアでも業界最狭水準スプレッドをコアタイムで提示開始

CFD-Metals

- ◆ 金/米ドル、銀/米ドルでは業界最狭水準スプレッド提示(続行)
- ◆ 金/米ドルでキャッシュバックキャンペーンを続行、さらに10月から銀/米ドルで業界最高水準の
スワップポイントを提示

暗号資産CFD

- ◆ 2021年12月6日より暗号資産CFDを開業し、ビットコイン/円、イーサリアム/円、ライトコイン/円、
ビットコインキャッシュ/円の主要4銘柄を取扱い開始

※原則パートナーズFXnanoにおける一定条件下の取引に限る。一部例外あり

『米ドル／円』スプレッド**0.0銭**を24時間提示（続行）

第2四半期に引き続き、米ドル／円を1回あたりの取引数量 3万ドルまで

原則**24時間スプレッド 0.0銭(売買同値)**でお取引いただけるキャンペーンを続行しました。

また、18時から24時の時間帯で1回あたりの取引数量 3万ドル超から20万ドルまで

スプレッド **0.0銭(売買同値)**、16時から18時の時間帯でもスプレッド **0.1銭** を提示しました。

※主要経済指標発表時等の急変時、国内外の休日や平日早朝など著しい流動性低下時はやむをえずスプレッドを拡大することがあります。
メンテナンス時間は適用時間に含まれません。

The banner features a blue background with white and red text. At the top, it says 'nano' with the US and Japanese flags, '米ドル/円', and '7月6日～2022年1月17日まで!' with a note '※原則固定(例外あり) ※メンテナンス時間を除く'. Below this, it reads '米ドル/円スプレッド 業界最狭!' and '第1位' with a 'MINKABU' award logo. The main offer is '3万通貨まで 24時間 0.0銭'. At the bottom, it states '20万通貨までは18:00～24:00の間0.0銭、16:00～18:00の間0.1銭、その他の時間も0.2銭!'.



『豪ドル／円』スプレッド**0.2銭**で24時間提示を開始

米ドル／円のみならず、11月1日より 豪ドル／円で1回あたりの取引数量 **5万通貨**まで

原則 **24時間 業界最狭水準スプレッド 0.2銭**の提示を開始、加えて11月17日よりトルコリラ／円、ユーロ／円、ポンド／円においても、当社所定の注文数量まで原則**24時間業界最狭水準スプレッド**を提示しました。

※主要経済指標発表時等の急変時、国内外の休日や平日早朝など著しい流動性低下時はやむをえずスプレッドを拡大することがあります。メンテナンス時間は適用時間に含まれません。

nano 豪ドル／円 11月1日-11月12日

豪ドル／円も **スプレッド業界最狭水準!**

注文数量 **5万通貨**まで **24時間 0.2銭**

20万通貨までのお取引は、16:00～23:00の間0.3銭で取引可能! その他の時間も0.5銭!

1回あたり5万通貨までのお取引は、24時間**0.2銭!**

注文数量 5万通貨まで **24時間 0.2銭**

20万通貨までのお取引もスプレッド縮小継続中!

営業開始～ 16:00 23:00 営業終了

0.5銭 **0.3銭** **0.5銭**

nano nanoスプレッド **24時間最狭水準!** 第1位 MINKABU スプレッド部門

11月17日～2022年1月19日まで

5万通貨までのお取引で トルコリラ／円 1.0銭 (原則固定 例外あり)	3万通貨までのお取引で ユーロ／円 0.2銭 (原則固定 例外あり)	3万通貨までのお取引で 英ポンド／円 0.4銭 (原則固定 例外あり)
---	---	--

ユーロ／円、英ポンド／円の3万100通貨以上のお取引は適用時間・スプレッドが異なります。

『米ドル／円』業界最狭水準スプレッド**0.2銭**を提示(続行)

約定力100%(お客様が注文時にご覧になられたレートで約定)のパートナーズFXでは、米ドル／円にて18時から24時の時間帯で業界最狭水準スプレッド **0.2銭**の提示を続行、さらに11月より豪ドル／円、ユーロ／円、ポンド／円 の3通貨ペアをラインナップに追加し、マネーパートナーズの主要取扱通貨ペアのうち4通貨ペアにて業界最狭水準スプレッドを提示しました。

※主要経済指標発表時等の急変時、国内外の休日や平日早朝など著しい流動性低下時はやむをえずスプレッドを拡大することがあります。
メンテナンス時間は適用時間に含まれません。



PartnersFX
「100%の約定力」※1
業界最狭水準スプレッド

通貨ペア	スプレッド	期間	時間
米ドル／円	0.2銭	11月8日～12月17日まで	18:00～24:00
豪ドル／円	0.3銭	11月8日～12月17日まで	18:00～24:00
ユーロ／円	0.3銭	11月22日～12月17日まで	18:00～24:00
英ポンド／円	0.5銭	11月22日～12月17日まで	18:00～24:00

※2 原則固定 (例外あり)

さらに!! 11通貨ペアで業界高水準のキャッシュバック!!

10月より米ドル／円・豪ドル／円[※]を含む主要取扱通貨の11通貨ペアで1万通貨ごとのお取引に対するキャッシュバックキャンペーンを実施し、取引高及び稼働数の増加に向けた訴求をおこないました。**業界高水準のキャッシュバック**を**業界最狭水準スプレッド**の提示とあわせて実施し**他社との差別化**を図りました。

12月にはトルコリラ相場のボラティリティ拡大の影響を受け、相場急変動時等にはお客様に提示するレートもスプレッドを拡大せざるを得ない状況もございました。このような状況下でもお取引いただけるお客様にお詫びと感謝を込めて、時間帯の制限なくトルコリラ／円のお取引に対して**1万通貨あたり『10円』**とする**業界最高水準 上限金額なしのキャッシュバックキャンペーン**を実施しました。

※米ドル／円・豪ドル／円は16時から24時のお取引が対象外



PFX キャッシュバックキャンペーン 11月15日～11月30日
上限なし!新規・決済どちらもキャッシュバック!!
 米ドル／円 含む全 11 通貨ペア [※別添付他] が対象!
 16:00~23:00は米ドル／円・豪ドル／円を除く9通貨ペアでキャッシュバック増額!
 トルコリラ／円 10円 (1万通貨あたり)
 ポンド／円 9円 (1万通貨あたり)
 ユーロ／円 7円 (1万通貨あたり)



PFX トルコリラ／円 12月1日～12月17日
1万通貨ごとに! 10円 キャッシュバック! 上限なし!
 キャッシュバックキャンペーン

CFD-Metalsでは、
16:00～23:00の時間帯、**金／米ドル**、**銀／米ドル**にて**業界最狭水準スプレッド**の提示を続行しました。

上記以外の時間帯の**金／米ドル**、**銀／米ドル**においても**業界高水準スプレッド**を提示しております。

また、**金／米ドル**のお取引にて**終日対象 上限金額なし**のキャッシュバックキャンペーンも併せて提供を続行しました。

さらに、**銀／米ドル**のお取引では**業界最高水準のスワップポイント**を提示しました。

CFD 10月1日～10月29日

**業界最狭水準
スプレッド**

金/米ドル		左記以外	
16時 ～ 23時	0.3 pips	0.5 pips	

銀/米ドル		左記以外	
16時 ～ 23時	0.2 pips	0.4 0.3 pips	

**終日対象! 上限なし
キャッシュバック!**

金/米ドル

終日 **3**円 1単位あたり (1toz)

 銀/米ドルはキャッシュバック対象ではありません。

**終日対象!
上限なし!**

CFD-Metals 金/米ドル
キャッシュバックキャンペーン
12月1日～12月31日

(1toz)
1単位あたり
終日
3円!

マネパの

暗号資産CFD



2021年12月6日よりサービス開始



II - b 暗号資産CFD開業





マネーパートナーズは、12月6日より暗号資産CFDの提供を開始しました。

暗号資産の市場は一般的に外国為替市場よりも**値動きが大きい**ことが特徴的です。

例えば、変動率が比較的高い通貨の代表例として知られるトルコリラ／円の値動きは、米ドル／円の**約4倍**にあたります。今回マネーパートナーズが取扱いを開始した銘柄の1つであるビットコイン／円の値動きは、このトルコリラ／円の**約3倍**にあたります（※2021年1月～12月 日足で比較）。加えて、暗号資産はFXとは異なり**24時間365日**（メンテナンス時間を除く）お取引をして頂ける商品となっております。

また、同社では現在暗号資産CFDの開業を記念した**口座開設キャンペーン**を実施しております。

取引銘柄（全4種類）

 ビットコイン／円 取引単位 0.001 BTC	 イーサリアム／円 取引単位 0.01 ETH～
 ライトコイン／円 取引単位 0.01 LTC～	 ビットコインキャッシュ／円 取引単位 0.01 BCH～



III Ⅱ - c 2022年3月期 Q4からのマネパ

パートナーズFX nano

- ◆ FX業界初^{※1}米ドル／円 スプレッド **0.0銭(売買同値)**^{※2}恒常化
- ◆ 豪ドル／円・ポンド／円・ユーロ／円・トルコリラ／円の主要取扱通貨ペアも業界最狭水準スプレッドを恒常化^{※2}

パートナーズFX

- ◆ 米ドル／円の業界最狭水準スプレッド **0.2銭**をはじめとする豪ドル／円・ユーロ／円・ポンド／円の4通貨ペアにて業界最狭水準スプレッド提示を続行

全体

- ◆ みんかぶFX会社比較ランキング「スプレッド部門」
10月次、11月次、12月次の**3ヵ月連続 第1位** 獲得
- ◆ みんかぶFX会社比較ランキング「スプレッド部門」**年間 第1位** 獲得

※1 過去10年の間の同業他社スプレッド(当社調べ)2022年1月19日現在

※2 原則パートナーズFXnanoにおける一定条件下の取引に限る。一部例外あり

パートナーズFX nano

「米ドル/円」スプレッド

3万ドルまで

24時間 『0.0銭』

原則固定（例外あり）

2022年1月18日より

恒常化しました。

次ページへ続く▶

FX業界初!![※] 米ドル/円 スプレッド 0.0銭(売買同値) 恒常化!!

2022年1月18日より、米ドル/円で1回あたり取引数量3万ドルまで原則24時間スプレッド 0.0銭(売買同値)を恒常化しました。また18時から24時の時間帯でも、1回あたり取引数量3万ドル超から20万ドルまでスプレッド0.0銭を恒常化しております。この恒常化により、今後も引き続き低コストかつ利便性の高い環境でお取引いただけます。

※ 過去10年の間の同業他社スプレッド(当社調べ)2022年1月19日現在

The advertisement features a blue background with white and red text. At the top left is the 'nano' logo. The main headline reads '業界最狭スプレッド' (Industry's narrowest spread) followed by '米ドル/円 0.0銭 恒常化' (USD/JPY 0.0 yen constant). Below this, it specifies '注文数量3万通貨まで' (up to 30,000 units of order quantity) and '24時間 0.0銭' (24 hours 0.0 yen). A gold award badge on the right indicates '第1位' (1st place) in a 'FX会社比較ランキング MINKABU' (FX company comparison ranking MINKABU) for December 2021, specifically for the 'スプレッド部門' (spread category). Two small notes at the bottom right state: '※原則固定(例外あり)' (Fixed principle, exceptions apply) and '※メンテナンス時間を除く' (excluding maintenance time).

さらに!!米ドル／円以外の4通貨ペアでも業界最狭水準スプレッドを恒常化!!

2022年1月20日より、マネーパートナーズの主要取扱通貨ペアのうち豪ドル／円、ポンド／円、ユーロ／円、トルコリラ／円の主要4通貨にて、当社所定の注文数量まで原則24時間 業界最狭水準スプレッド(原則固定)を恒常化しました。また、20万通貨までのお取引においても取引が最も多い時間帯(16:00～24:00)で業界最狭水準スプレッドを恒常化しております。 ※トルコリラ/円は相場状況不安定のため現在スプレッド広告を実施していません

nano 2022年1月20日から

業界最狭水準スプレッド

豪ドル/円・ポンド/円
ユーロ/円・トルコリラ/円 恒常化



 豪ドル/円 5万通貨まで24時間 0.2銭	 ポンド/円 3万通貨まで24時間 0.4銭	 ユーロ/円 3万通貨まで24時間 0.2銭	 トルコリラ/円 5万通貨まで24時間 1.0銭
--	--	--	--

『米ドル／円』はじめ4通貨ペアで業界最狭水準スプレッドを提示(続行)

「100%の約定力」(お客様が注文時ご覧になられたレートで約定)のパートナーズFXでは、米ドル／円
0.2銭をはじめとする、豪ドル／円、ユーロ／円、ポンド／円のマネーパートナーズの主要取扱通貨ペア
のうち4通貨ペアにてコアタイム(18:00～24:00)業界最狭水準スプレッドの提示を続行しております。

※主要経済指標発表時等の急変時、国内外の休日や平日早朝など著しい流動性低下時はやむをえずスプレッドを拡大することがあります。
メンテナンス時間は適用時間に含まれません。

The banner features the Partner FX logo in the top left corner. The main text is centered and reads: 「100%の約定力」 × 業界最狭水準スプレッド. Below this, the duration of the promotion is stated as 1月10日～1月31日まで 各日18:00～24:00. At the bottom, four currency pairs are listed in white boxes with red text for the spread rates: 米ドル/円 (0.2銭), 豪ドル/円 (0.3銭), ユーロ/円 (0.3銭), and 英ポンド/円 (0.5銭). Each box also includes the text '原則固定 (例外あり)'.

通貨ペア	スプレッド
米ドル/円	0.2銭
豪ドル/円	0.3銭
ユーロ/円	0.3銭
英ポンド/円	0.5銭

『米ドル／円』、『ポンド／円』でキャッシュバックキャンペーン実施！
『トルコリラ／円』はキャッシュバックキャンペーンを続行！

米ドル／円では、お取引に対して**100万ドルごとに300円**の業界高水準のキャッシュバックキャンペーンを実施し、大口・中口のお客様への訴求を行っています。

第3四半期から引き続きトルコリラ／円では全時間帯で**1万通貨あたり10円**の業界最高水準となるキャッシュバックキャンペーンを続行しております。

ポンド／円ではお取引に対して**1万通貨ごとに7円**の業界高水準のキャッシュバックキャンペーンを実施し、多くのお客様にお取引いただけるよう施策を打ち出しました。

これらの施策と業界最狭水準スプレッドの提示とあわせて実施することで他社との差別化を図り、さらなる取引高及び稼働数の増加に向け取り組んでまいります。

※米ドル／円・ポンド／円ともに18時から24時のお取引はキャッシュバック対象外となります。





みんながFX会社比較ランキング「スプレッド部門」

2021年10月以降 **3ヵ月連続 第1位 獲得** 及び **年間第1位 獲得**

マネーパートナーズは株式会社ミンカブ・ジ・インフォノイドが運営している、みんながFX会社比較ランキング「スプレッド部門」において、2021年10月次、11月次、12月次の**3ヵ月連続第1位**を獲得し、併せて**2022年版 年間第1位**を獲得しました。

パートナーズFXnanoでは、米ドル／円の1回当たりの取引数量3万ドルまで原則**24時間スプレッド0.0**銭の提示[※]、米ドル／円以外の人気クロス円の4通貨ペアにおいて一回当たり当社所定の取引数量まで業界最狭水準のスプレッドの提示[※]を**恒常化**しました。

このような訴求を強化することで、マネーパートナーズの認知を高め、より多くのお客様にお取引いただけるよう取り組んで参ります。



[※]主要経済指標発表時等の急変時、国内外の休日や平日早朝など著しい流動性低下時はやむをえずスプレッドを拡大することがあります。
メンテナンス時間は適用時間に含まれません。

Ⅲ.プライム市場の選択 及び計画書取組進捗について

上場維持基準の適合状況及び基本方針

2022年4月に予定される市場区分の見直しに関して、2021年12月に**プライム市場を選択**する申請書を提出しました。

ただし、移行基準日時点（2021年6月30日）において、当該市場の上場維持基準への適合状況については、流通株式時価総額のみ基準を充たしていない旨の判定を受けております。

基準/市場	プライム市場	当社の数値
流通株式時価総額	100億円	54.4億円

(注) 2021年7月9日付当社宛「新市場区分における上場維持基準への適合状況に関する一時判定結果について」より引用

上場維持基準を充たすために必要と想定される計画期間を、**2026年3月期末まで**としております。

そのため、以下の数値目標を設定し、各種取組を着実に実行してまいります。

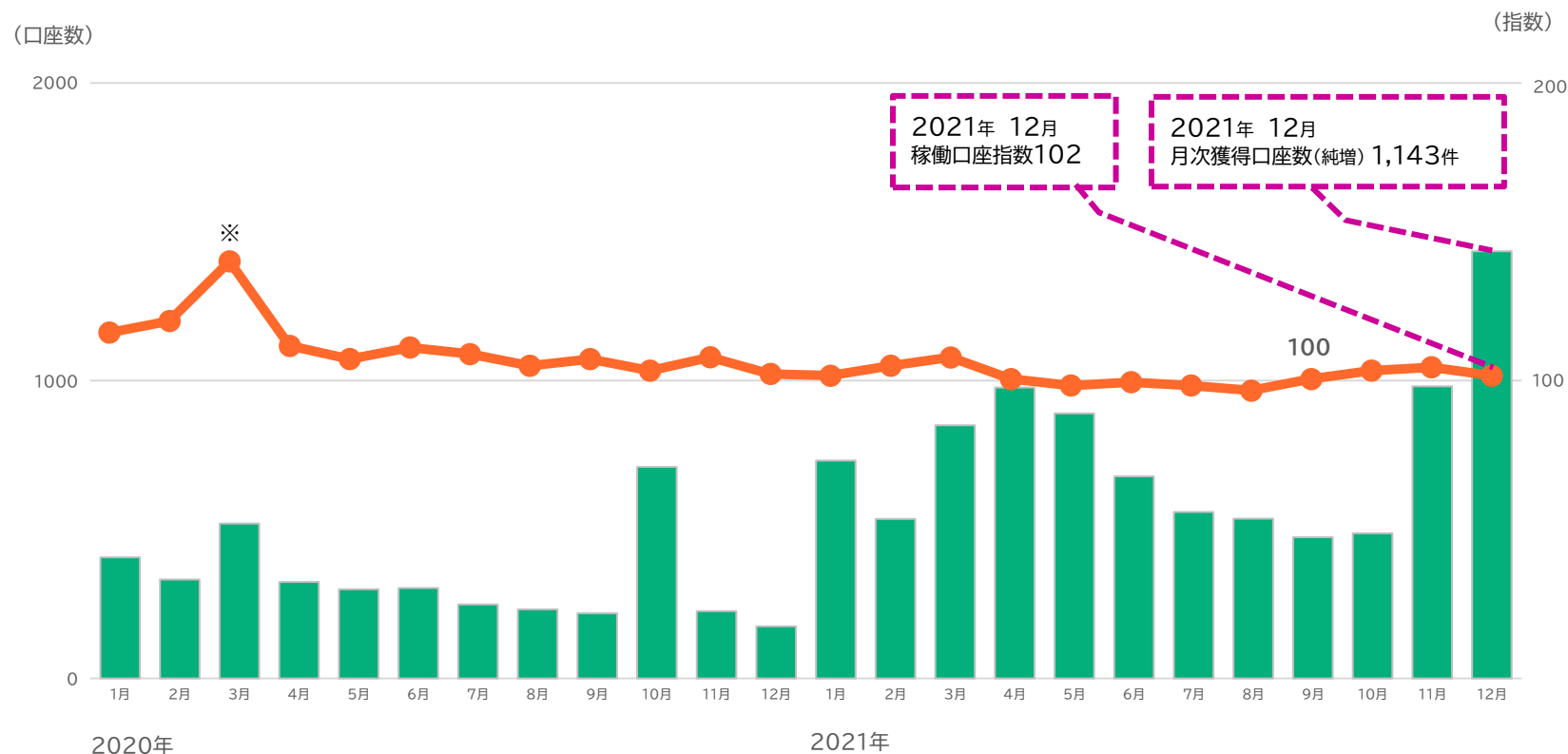
(ご参考)

数値目標/年度	2026年3月期	2022年3月期(3Q累計実績)
ROE	8%以上	4.8%
営業収益経常利益率	20%	19.8%
親会社株主に帰属する当期純利益	1,400百万円	601百万円
EPS	42.95円	18.87円
株 価	554円	
流通株式時価総額	11,720百万円	

主な各種取組の進捗状況

達成目標 < 2026年3月期中 >

- ・月次の新規獲得口座数 **2,000** 件以上
- ・稼働口座数の増加（2021年9月を100とした指数で**180** 以上）



※新型コロナウイルス感染症により相場が大きく変動したため、一過性な稼働指数となっております。

■ 主な各種取組の進捗状況

課題	取組	期日	進捗
業績の向上	暗号資産CFDにかかるサービス開始	2021年12月6日	サービス開始
	現状のBTC・ETH・LTC・BCH/円に加え、さらなる銘柄の追加通貨を検討	2023年3月期中	検討中
	将来のコスト削減に向けたシステム投資(クラウド移行等)	2023年3月期以降を予定	検討中
	スマホアプリのリニューアル	2022年3月期中	準備中
コーポレートガバナンスの充実	投資家向け決算説明会等の充実	2022年3月期末以降、コロナ禍の状況を見つつ再開	検討中
	英文開示資料の拡充	2022年6月より、定時株主総会狭義の招集通知を英訳	Q4着手予定
	取締役会の諮問機関として「指名・報酬委員会」を設置	2022年3月期中	準備中
	投資家に対する情報開示の充実、IRサイトのリニューアル	2022年3月期中	準備中
	バーチャル併用(参加型)の株主総会の実施	2022年3月期にかかる定時株主総会より実施予定	準備中

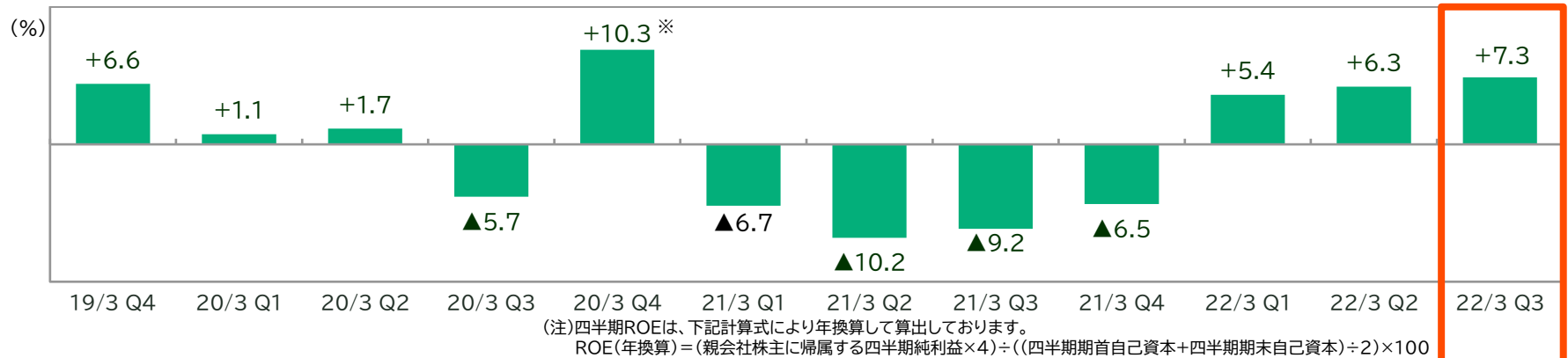
IV. 当社の経営目標 及び株主還元について



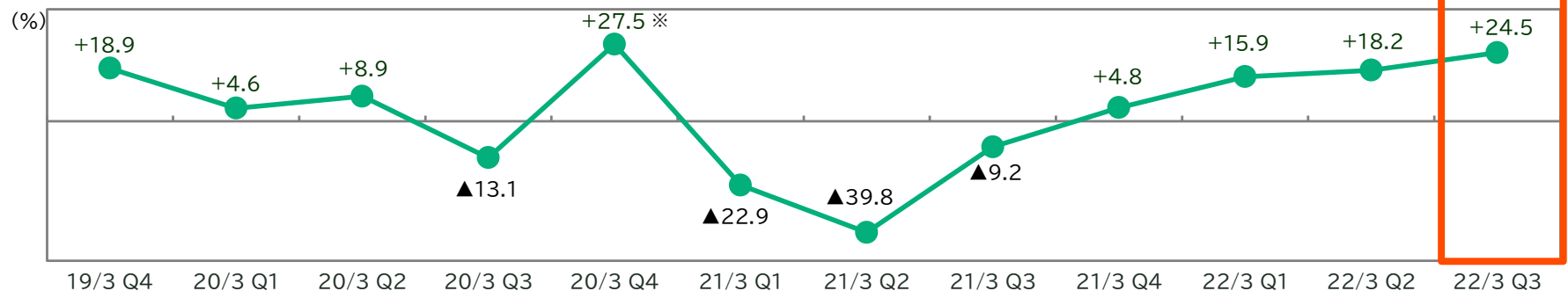
当社の経営目標: ROE及び営業収益経常利益率の向上

- 当社は、企業価値の最大化のため自己資本を効率的に活用することを重視しております。
- このために効率的な収益構造の実現を目指して参ります。
- 効率性を計る尺度として、自己資本利益率(ROE)及び営業収益経常利益率を重要な経営指標として位置づけております。

自己資本利益率(ROE)



営業収益経常利益率



※2020年3月期4Qについては、3月に新型コロナの影響を受け値幅が10円を超えるボラティルな展開となりました。その影響で営業収益は2010年5月以来の10億円を超えたため、一過性な収益となっております。

株主還元について

配当方針

配当性向
親会社株主に帰属する当期純利益の

30%を目途[※]

配当機会

中間及び期末(年2回)

※配当は、配当性向の目途を30%としつつも財務状況及び事業環境等を総合的に勘案して決定

		2021年3月期				2022年3月期			
		Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)		▲223	▲332	▲292	▲202	167	199	234	
上段:3ヶ月 下段:累計		▲223	▲556	▲848	▲1,050	167	366	601	
配当金の総額(百万円)		16		—		122		—	
期末発行済		33,801,900		33,801,900		33,801,900		—	
株式総数(株)		(内、自己株式1,202,300)		(内、自己株式1,202,300)		(内、自己株式1,202,301)			
1株当たり 配当金	中間・期末	0.5円		0.0円		3.75円		未定	
	年間	0.5円				未定			

2021年3月期連結決算において、当社グループの主軸事業であるFXの不振や連結子会社の事業撤退に伴う損失等により親会社株主に帰属する当期純損失となり、誠に遺憾ながら期末配当を無配といたしました。しかし、2020年11月中旬の代表交代以降は、基軸事業でありますFX取引を含む「店頭デリバティブ取引」へ経営資源を集中させ、FX取引の商品性の洗練化や新サービスの開始、また、不採算事業の見直し等の「選択と集中」をグループ方針に掲げ推進したこと等により、2020年11月より徐々に収益を持ち直し、2022年3月期四半期毎は第三四半期まで黒字計上となっております。これらの取組みが奏功したことにより、2021年12月2日には1株当たり3円75銭の中間配当を実施することができました。当社グループは、さらなる業績向上を目指し、株主の皆様への継続的かつ適正な利益還元の実現に努めてまいります。

V. 參考資料



社名	株式会社マネーパートナーズグループ
代表取締役社長	福島 秀治
設立日	2005年 6月10日
資本金	20億円
純資産(連結)	128億円 (2021年 12月末現在)
発行済株式総数	33,801,900株
連結子会社	株式会社マネーパートナーズ 株式会社マネーパートナーズソリューションズ コイネージ株式会社(清算中)

連結子会社の代表取締役の異動等

連結子会社の代表取締役及び取締役の異動を、下記の通り行いました。

今後、プライム市場を目指していくなかで、「人材の育成・強化」を課題としており、その中で「グループ企業組織間の連携強化による多様なリソース・知見の融合」を取組みの1つとして掲げております。下記の異動をおこなったことで、さらなるグループ企業組織間の連携を図っております。

株式会社マネーパートナーズソリューションズの代表取締役の異動（2021年10月1日付）

氏名	新役職名	旧役職名
白水 克紀	代表取締役社長	<新任>
小西 啓太	取締役副社長	代表取締役社長

株式会社マネーパートナーズの子会社の取締役の異動（2021年9月30日付）

氏名	新役職名	旧役職名
白水 克紀	<退任>	常務取締役

株式会社マネーパートナーズの子会社の取締役の異動（2020年12月15日付）

氏名	新役職名	旧役職名
佐藤 直広	常務取締役	取締役

株式会社マネーパートナーズの子会社の取締役の異動（2021年10月1日付）

氏名	新役職名	旧役職名
上山 文利	常務取締役CIO	取締役CIO



四半期連結業績推移

	2020/3期	2021/3期	2022/3期					
	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3
	(1月~3月)	(4月~6月)	(7月~9月)	(10月~12月)	(1月~3月)	(4月~6月)	(7月~9月)	(10月~12月)
営業収益	2,034	1,030	902	1,123	1,457	1,278	1,253	1,449
受入手数料	16	7	9	8	10	9	11	9
トレーディング損益	1,860	995	851	1,045	1,362	1,211	1,193	1,397
金融収益	8	2	1	0	1	1	1	1
その他の売上高	148	23	41	68	83	56	47	40
金融費用	46	43	41	42	79	26	25	23
売上原価	128	10	25	39	47	42	32	25
純営業収益	1,859	976	835	1,042	1,330	1,210	1,195	1,400
販売費・一般管理費	1,294	1,212	1,181	1,143	1,256	1,006	997	1,053
営業利益	564	▲235	▲346	▲101	73	203	197	347
経常利益	559	▲235	▲359	▲103	69	203	228	355
特別利益	—	0	0	—	▲0	24	2	4
特別損失	—	—	—	189	573	—	1	1
税金等調整前四半期純利益	559	▲235	▲359	▲292	▲504	227	229	357
親会社株主に帰属する四半期純利益	344	▲223	▲332	▲292	▲202	167	199	234

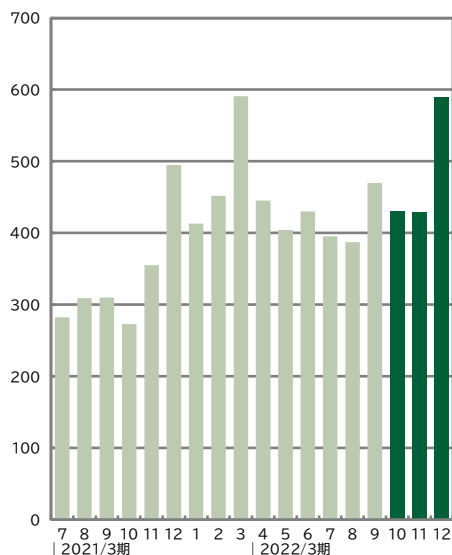
月次連結業績指標推移

■ 月次連結営業収益、外国為替取引高、顧客口座数、顧客預り証拠金の推移

	2021/3期			2022/3期									
	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
営業収益(百万円)	495	413	452	591	445	403	430	395	387	470	430	429	589
外国為替取引高(百万通貨単位)	71,190	66,894	71,453	97,402	72,253	82,478	73,411	92,739	76,532	78,411	90,593	95,217	66,099
顧客口座数(口座)	341,086	341,521	341,690	342,122	342,801	343,397	343,817	344,134	344,134	344,522	344,755	345,482	346,625
顧客預り証拠金(百万円)	61,175	60,590	59,575	59,081	58,635	56,276	56,581	56,671	56,468	56,284	55,503	54,426	53,911
内、一般顧客(BtoB以外)	59,365	58,733	57,731	57,346	57,068	54,786	54,965	55,027	55,065	54,825	54,090	52,988	52,409

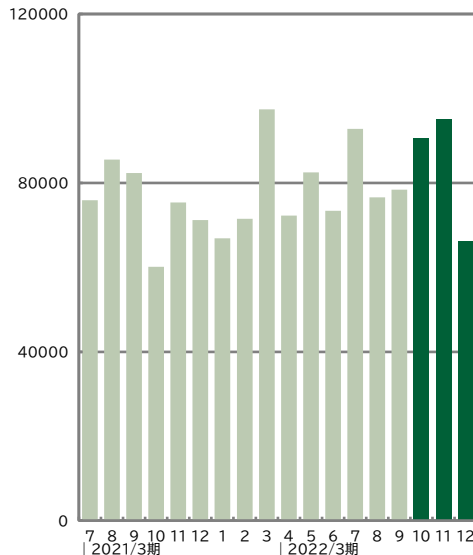
【営業収益】

(単位:百万円)



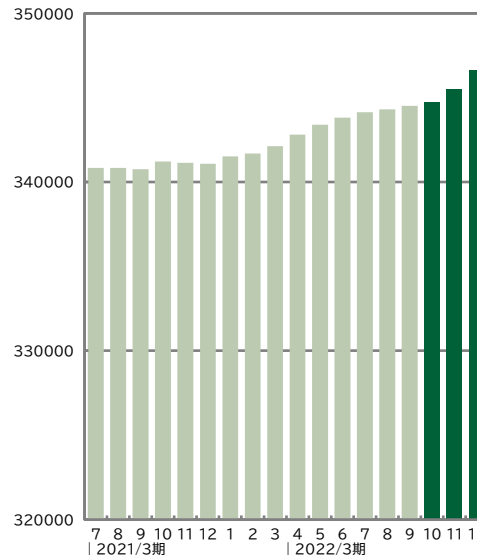
【外国為替取引高】

(単位:百万通貨単位)



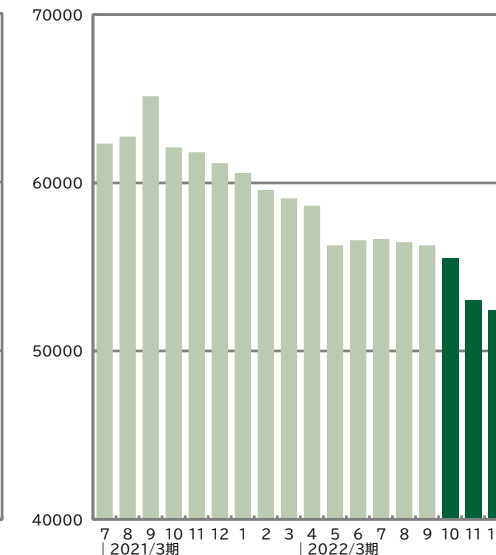
【顧客口座数】

(単位:口座)



【顧客預り証拠金】

(単位:百万円)



取扱い商品に係るリスク及び手数料等について

【パートナーズFXおよびパートナーズFXnano】

パートナーズFXおよびパートナーズFXnanoは、取引時の価格またはスワップポイントの変動、およびスワップポイントは支払いとなる場合があることにより、売付時の清算金額が買付時の清算金額を下回る可能性があるため、損失が生じるおそれがあります。また、証拠金の額以上の投資が可能のため、その損失の額が証拠金の額を上回るおそれがあります。売付価格と買付価格には差額(スプレッド)があります。

パートナーズFXおよびパートナーズFXnanoの取引に必要な証拠金は、取引の額の4%以上の額で、証拠金の約25倍までの取引が可能です。法人コースの建玉必要証拠金金額は原則、一般社団法人金融先物取引業協会が算出した通貨ペアごとの為替リスク想定比率を取引の額に乗じて得た額とします。為替リスク想定比率とは、金融商品取引業等に関する内閣府令第117条第31項第1号に規定される定量的計算モデルを用い算出します。

取引手数料は無料です。なお、外貨両替については1通貨あたり0.20円、受渡取引については1通貨あたり0.10円の手数をいただきます。

【CFD-Metals】

CFD-Metalsは、取引時の価格またはスワップポイントの変動、およびスワップポイントは支払いとなる場合があることにより、売付時の清算金額が買付時の清算金額を下回る可能性があるため、損失が生じるおそれがあります。また、証拠金の額以上の投資が可能のため、その損失の額が証拠金の額を上回るおそれがあります。売付価格と買付価格には差額(スプレッド)があります。

CFD-Metalsの取引に必要な証拠金は、取引の額の5%以上の額で、証拠金の約20倍までの取引が可能です。

【証券】

国内上場有価証券の売買等に当たっては、最大で約定代金の2.75%の手数料(消費税込み)、最低手数料は取引形態等により異なり最大で2,750円(消費税込み)をいただきます。国内上場有価証券等は、株式相場、金利水準、為替相場、不動産相場、商品相場等の価格の変動等および有価証券の発行者等の信用状況(財務・経営状況を含む)の悪化等それらに関する外部評価の変化等を直接の原因として損失が生ずるおそれ(元本欠損リスク)があります。

【暗号資産CFD】

暗号資産は法定通貨(本邦通貨又は外国通貨)ではなく、特定の者によりその価値を保証されているものではありません。暗号資産は、代価の弁済を受ける者の同意がある場合に限り代価の弁済に使用することができます。

暗号資産CFDは、取引時の価格の変動により、売付時の清算金額が買付時の清算金額を下回る可能性があるため、損失が生じるおそれがあります。また、証拠金の額以上の投資が可能のため、その損失の額が証拠金の額を上回るおそれがあります。売付価格と買付価格には差額(スプレッド)があります。

暗号資産CFDの取引に必要な証拠金は、取引の額の50%以上の額で、証拠金の約2倍までの取引が可能です。

取引にあたり、営業日をまたいで建玉を保有した場合にはレバレッジ手数料が発生します。

取引開始にあたっては契約締結前書面を熟読、ご理解いただいた上で、ご自身の判断にてお願い致します。

〈商号〉株式会社マネーパートナーズ(金融商品取引業者・商品先物取引業者)

〈金融商品取引業の登録番号〉関東財務局長(金商)第2028号

〈加入協会〉日本証券業協会 一般社団法人金融先物取引業協会 日本商品先物取引協会 一般社団法人日本暗号資産取引業協会

2022年3月期 第3四半期
決算説明資料

2022年2月4日